

1 単元名 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう 「ヒロシマのうた」

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げ、本の帯にして紹介し合う」ことを位置付けた。「ヒロシマのうた」の学習をきっかけに、戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げ、心に響いた叙述やそれに対する自分の考えを本の帯にまとめて交流すれば、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。この活動を通して、本単元でねらう「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」「複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」「C 読むこと(1)エ カ」を確実に実現できるようにする。

3 単元について

(1) 児童の実態 (男子14名 女子5名 計19名)

1学期に取り組んだ物語文「ばらの谷」では、物語が強く自分に語りかけてきたことを考えながら読み、単元の後半では並行読書の中で心に残った本について、物語が強く語りかけてきたことをまとめて紹介し合うという学習を行った。その結果、多くの児童が登場人物の心情や場面についての描写をとらえ、それに対する自分の考えをまとめてほかの人に紹介することができた。

本単元の学習に入る前に実施した「読むこと」の学習に対する意識調査の結果をみると、登場人物の心情や場面の様子が分かるようになったので、もっと上手に自分の考えをまとめられるようになりたいと考えている児童が9名、目的に応じて複数の本を探したり選んだりして読むことができると考えている児童が5名だった。その一方で、人物の心情に対して、どのように自分の考えをまとめたらいかが分からない、機会があってもなかなか読書をしないという児童もいた。

心に響いた叙述をもとに、他の読み手にも伝わるように自分の考えをまとめられるようになること、目的に応じて複数の本を選んで比べながら読めるようになることが本学級の児童の課題である。

(2) 教材観

主教材「ヒロシマのうた」は、広島原爆の悲惨さ、生き残った人間一人一人の生活や心の中に及ぼす悲しみの深さを伝え、さらに、主人公に力強く生きてほしいという作者の願いがこめられている作品である。この作品をきっかけにして、戦争と人間の生き方をえがいた本へと読み広げ、そこで考えたことを交流すれば、さらに自分の考えを深められるのではないかと考えられる。

(3) 指導観

第1次では、書店に並べられた本の帯の写真を提示し、そこに添えられた読み手をひきつける言葉に着目させ、「どんな言葉で紹介された本の帯なら、“この本を読みたい”と思うだろう？」と投げかける。さらに、原爆の写真や「ヒロシマのうた」の挿し絵を活用しながら教材文の内容に関心をもたせ、そこから「戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げ、本の帯を作って紹介し合おう」という本単元の活動を提案し、学習の見通しと読みの必然性をもたせたい。

第2次では教材文「ヒロシマのうた」を、中心人物の心情描写に着目しながら自分の心に響く叙述を見付け、本の帯をまとめるという目的をもって読み、場面ごとに本の帯をまとめる学習をする。まとめるためのポイントや表現の工夫を明確に示し、必要に応じて本の帯のモデルを提示しながら、各自が叙述に対する自分の考えをまとめられるようにする。

第3次では、「友達や先生方に“この本を読んでみたい！”と思わせる本の帯ベスト5！を選んでもらおう。」という場を設定する。並行読書を通して見付けた心に残った本を、自分の心に強く響いた叙述、それに対する自分の考え、読み手への呼びかけ等、表現を工夫しながら本の帯にまとめ、紹介し合うという活動である。これらの活動を通して、本単元の目標に迫りたい。

4 単元の目標

- (1) 関連するテーマの本を進んで読もうとする。 (国語への関心・意欲・態度)
- (2) 戦争と人間の生き方についての本を複数選び、本を推薦するために、登場人物の心情や自分の心に強く響く叙述等に注目して読むことができる。 (読むこと)
- (3) 一人称の独白の効果や時の経過を表す言葉について理解することができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・戦争と人間の生き方をえがいた作品に興味をもち、進んで読もうとしている。	・登場人物の心情や心に響く叙述を考えながら、読んでいる。 ・戦争と人間の生き方についての本を複数選んで、比べて読んでいる。	・一人称の独白の表現やその効果を理解している。 ・時の経過を表す言葉やその効果を理解している。

6 主な学習活動（単元の指導計画 10時間扱い）

	主な学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	
第一次 ①	<p>◆学習の見通しをもつ。</p> <p>1 書店の本の写真、実物の本の帯、単元の第3次で作成し紹介したい本の帯のモデルから、読み手をひきつける本の帯の言葉について考える。</p> <p>2 原爆の写真や教材文の挿し絵から「ヒロシマのうた」の内容に関心をもち、「友達や先生方に“この本を読みたい！”と思わせる本の帯を作って紹介し合う。」という単元の学習について知る。</p>	<p>○新刊本に添えられた本の帯や第3次で作成し紹介し合う本の帯のモデルを提示することによって、読み手をひきつける言葉に着目させ、単元の学習に意欲をもつことができるようにする。</p> <p>○写真や挿し絵を活用することによって、戦争と人間の生き方をえがいた作品であることに気付かせる。また、図書環境を整えておくことによって、並行読書への興味を喚起させる。</p>	戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げる
第二次 ⑥ 本時は ④	<p>◆自分の心に響く叙述を見付けながら、本の帯をまとめるという目的をもって「ヒロシマのうた」を読み、場面ごとに本の帯をまとめる。</p> <p>1 自分の心に響く叙述を意識しながら全文を通読し、感想をまとめる。</p> <p>2 場面ごとに、心に響いた叙述とそれに対する自分の考えを、本の帯にまとめ、紹介し合う。</p> <p>3 作品全体から、最も強く心に響いた叙述とそれに対する自分の考えを本の帯にまとめて紹介し合い、感想等を交流する。</p>	<p>○本の帯をまとめるためには、登場人物の心情や場面の様子を考え、自分の心に響く叙述を見付けながら読むことを意識することが大切だということを押さえる。</p> <p>○本の帯をまとめるためのポイント（心に強く響いた叙述→それに対する自分の考え→読み手への呼びかけ）や、読み手をひきつける表現の工夫について必要に応じてモデルを提示しながら、具体的に指導する。</p> <p>○友達の読みと交流することで、多面的に作品のよさを明らかにできるようにする。</p>	
第三次 ③	<p>◆戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げ、強く心に残った作品を選んで本の帯を作り、紹介し合う。</p> <p>1 自分の心に強く響く叙述を意識しながら、選んだ本を読み直す。</p> <p>2 最も強く心に響いてきた叙述とそれに対する自分の考え、読み手への呼びかけ等の表現を工夫しながら、本の帯をまとめる。</p> <p>3 出来上がった本の帯を紹介し合い、“この本を読みたい！”と思えた本の帯を決める。</p>	<p>○心に響いてきたことを伝えるのにふさわしい言葉を用いてまとめているかどうか確認させる。</p> <p>○よいと感じた本の帯とその理由を交流する場を設定し、友達の心に響いた叙述やそれに対する友達の考えについて、自分自身の考えと比較させる中で、戦争と人間の生き方に対する考えを深められるようにする。</p>	

7 本時の学習

(1) 目標

「ヒロシマのうた」の3の場面を、自分の心に響く叙述を見付けながら読み、表現を工夫しながら本の帯にまとめて紹介することができる。

(2) 準備・資料

単元の学習計画表 「ヒロシマのうた」の挿し絵 3の場面の教材文

学習の進め方カード 本の帯のモデル

(3) 展開

学 習 活 動 ・ 内 容	支援の手立て◎ユニバーサルデザイン ○個への支援 ※評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="204 562 699 645" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表現を工夫して本の帯をまとめ、紹介し合おう。友達の発表を聞いて・・・</p> </div> <p>2 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の流れを確認する。 ・1の場面で作った本の帯を見直す。 <p>3 学習の進め方を確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 読む→登場人物の心情、心に響く叙述を探す。 ② 登場人物の心情が分かる叙述→線 ③ 心に響いた叙述→マーカー ④ 本の帯にする表現を考え、ノートにまとめる。 ⑤ 本の帯を紹介し合い感想を交流する <p>4 3の場面を、自分の心に響く叙述を見付けながら読み、表現を工夫して本の帯をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情が分かる叙述に線を引く。 ・心に響いた叙述にマーカーで線を引く。 ・本の帯をまとめる。 <p>5 本の帯を紹介し合い、感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで紹介し合い、感想を交流する。 ・全体で紹介し合う。 <p>6 本時の学習を振り返り、まとめをする。</p> <div data-bbox="204 1798 699 1917" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・・・・・・という工夫をして本の帯がまとめられた。 友達の発表を聞いて・・・・・・。</p> </div> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>・終末で自己評価できるように、課題に対する目標到達度を示しておく。(表現を工夫してまとめられた→○ 友達の発表に対する考えをまとめられた→◎)</p> <p>・教師側の目標とは別に、評価指標の観点(児童には単元の導入で周知しておく。)を基に、各自に自己目標を決めさせ、本時の学習に対する意欲を喚起する。</p> <p>◎さし絵を活用し、前時までの話の流れを簡単に確認できるようにする。</p> <p>・意図的に指名し、1の場面で作った本の帯を聞き合うことによって、本の帯のまとめ方や表現の工夫を確認できるようにする。</p> <p>◎学習の進め方カードを活用しながら、読む目的を明確にし、活動の順番を具体的に指示することによって、主体的に活動に取り組めるようにする。</p> <p>○前時までのノート指導やノートへの朱書きを丁寧に行い、ノートによって既習の内容や方法を確認できるようにしておく。</p> <p>・机間指導を通して、一人一人の児童がとらえた叙述を認め、自信をもって活動を継続できるような言葉かけをする。同時に、紹介し合う場面での意図的な指名に活かせるように児童のまとめた内容や表現の工夫を見取っていく。</p> <p>○まとめ方で迷っている児童には、本の帯のモデルを提示し、話し合いながら活動を促していく。</p> <p>・何についてどのように自分の考えを述べればよいのか、説明や手引きを活用しながら、自分の本の帯との違いや友達の本の帯のよさについて交流できるようにする。(1の場面の学習時からの継続)</p> <div data-bbox="756 1682 1401 1917" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※ 心に響く叙述を見付けながら読み、本の帯をまとめて紹介している。(ノート、発表)</p> <p>A: 叙述をもとに、戦争と人間の生き方に対する自分の考えをまとめて紹介している。</p> <p>C: 心に響いた叙述を見付け、読み手に呼びかけ表現を使ってまとめている。</p> </div> <p>◎単元の学習計画表を活用しながら、次時の学習内容を確認されるようにする。</p>

戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう「ヒロシマのうた」

心に強く響いたことを本の帯にまとめよう。(目指せ！レベル5)

レベル	心に強く響いたことを本の帯にまとめる
5 (A ⁺)	① 登場人物の心情が分かるところから、心に強くひびいたことを見つけられた。 ② そこから分かることや考えたことを、戦争と人間の生き方と結び付けながら自分なりの表現でまとめられた。 ③ 読み手をひきつけるような表現の工夫（体言止め、・・・や——などを使って余韻を残す、問いかけや呼びかけ。）をしてまとめられた。
4 (A)	① 登場人物の心情が分かるところから、心に強くひびいたことを見つけられた。 ② その表現（文章や言葉）を使って、戦争と人間の生き方と結び付けながら分かったことや考えたことをまとめられた。 ③ 読み手をひきつけるような表現の工夫（体言止め、・・・や——などを使って余韻を残す、問いかけや呼びかけ。）をしてまとめられた。
3 (B ⁺)	① 登場人物の心情が分かるところから、心に強くひびいたことを見つけられた。 ② 感想や戦争と結び付けたことをまとめられた。 ③ 読み手をひきつけるような表現の工夫（体言止め、・・・や——などを使って余韻を残す、問いかけや呼びかけ。）をしてまとめられた。
2 (B)	① 登場人物の心情が分かるところから、心に強くひびいたことを見つけられた。 ② 見つけた文や言葉を書き出し、最後に問いかけ（例：戦争とは・・・でしょうか？）や呼びかけ（例：あなたもぜひ読んでみてください。）の表現を使って、読み手をひきつけるようにまとめられた。
1 (C)	① 登場人物（わたし・ひろ子・母親）の気持ちが分かるところに線を引く、その中から自分の心に強くひびいたところを見つけて マーカーで線を引くことができた。 ② 自分の心に強くひびいたところをノートに書き写し、最後に読む人への呼びかけ（例：ぜひ、読んでみてください。）を書くことができた。

第1次の学習時で提案した学習課題

社会科「日本の歴史」の学習が終わり、戦争と人間の生き方について、もう一度みんなに考えてもらおうと、「戦争と人間の生き方を考えよう・・・『お薦めのこの一冊』コーナー」を作ることになりました。

そのコーナーでは、あなたが読んだ「戦争と人間の生き方」が書かれた本の中で、最も強く心に残った本・場面を「本の帯」にまとめて友達や先生方に紹介してもらいます。あなたが作った「本の帯」は、紹介する本に巻いて「戦争と人間の生き方を考えよう・・・『お薦めのこの一冊』コーナー」に置かれます。友達や先生方は、本の中身は読まず、あなたが作った「本の帯」だけを読んで、「一番読んでみたい」本を選びます。

これが自分の一番のお薦めと、自信をもって言える本を選んで、読む人の心にひびく「本の帯」を作りましょう。「本の帯」は、自分の心に最もひびいたことや場面、そこから分かったこと・考えたこと、読み手をひきつける書き方を工夫してまとめましょう。